

平成24年度 日本電気技術規格委員会  
第2回 溶接専門部会 議事要旨

1. 日時：平成24年12月11日（火）13:30～15:30
2. 場所：一般財団法人 発電設備技術検査協会 本部 E・F 会議室
3. 出席者（順不同、敬称略）

部会長：野本（東京大学名誉教授）

部会長代理：小溝（大阪大学）

委員：三原（富山大学）、小関（東京大学）、飯田（東京電力）、  
齊藤（奥村代理、中部電力）、平井（関西電力）、逢澤（日立）、原田（東芝）、  
齊川（青木代理、IHI）、伊倉（バブコック日立）、中田（三菱重工業）、  
小川（新日鐵住金）、森本（新日鐵住金）、横野（日本非破壊検査協会）、  
田村（堀江代理、火原協）、海老原（日本電気協会）、  
佐藤（鈴木代理、日本溶接協会）

検討会幹事：尾形（東京電力）、長谷川（中部電力）

傍聴者：臼井（電事連）

事務局：佐藤、芳野、橋本

4. 配付資料 ☆：事前配布した資料

WS-24-2-1 平成24年度第1回溶接専門部会議事要旨

WS-24-2-2 規約改正案

WS-24-2-3 委員名簿

WS-24-2-4 平成24年度日本電気技術規格委員会への表彰推薦申請書案

☆ WS-24-2-5 検討課題 WS12-03：JIS Z 2320(2007)「非破壊試験 - 磁粉探傷試験」の引用

☆ WS-24-2-6 検討課題 WS12-04：JIS Z 2343-5(2012)「非破壊試験 - 浸透探傷試験 - 第5部：  
50℃を超える温度での浸透探傷試験」の引用

☆ WS-24-2-7 検討課題 WS12-ZZ：JIS Z 2343-6(2012)「非破壊試験 - 浸透探傷試験 - 第6部：  
10℃より低い温度での浸透探傷試験」の引用

WS-24-2-参1 発電用火力設備の技術基準の解釈の改正要請の原子力安全・保安院への提

WS-24-2-参2 検討課題 一覧表

WS-24-2-参3 検討要望 一覧表

資料番号無し 書面投票及び専門部会出席実績表

## 5. 議事概要

### 5-1 定足数の確認

本部会において、審議成立の定足数である 14 名を満たすことが確認された。

**委員総数 21 名；定足数確認時：出席 17 名、欠席 4 名**

**部会途中（5-6 以降）から：出席 18 名、欠席 3 名**

### 5-2 前回の溶接専門部会議事要旨の紹介（報告事項）

[資料 WS-24-2-1]

前回議事要旨は既に承認されており、内容の紹介を行った。

### 5-3 委員会規約の改正について（審議事項）

[資料 WS-24-2-2]

事務局から委員会規約の改正内容について説明があった。

改正の決議は部会長の判断により挙手で行われた。

**賛同 17 名 改正承認**

### 5-4 同一組織委員の確認について

[資料 WS-24-2-3]

改正した委員会規約に基づき同一組織委員（小川委員及び森本委員）について、公平性が確保されることを確認した。

公平性の確認後、小川委員及び森本委員より改めてご挨拶があった。

### 5-5 新委員について

[資料 WS-24-2-3]

書面投票で新任が承認された、飯田委員、奥村委員、堀江委員及び海老沢委員の紹介及びご挨拶（代理出席者を含む）があった。

### 5-6 JESC への表彰候補者の推薦について

[資料 WS-24-2-4]

検討会幹事及び事務局から平成 24 年度日本電気技術規格委員会の表彰候補者の推薦について説明があり、溶接専門部会 試験検査検討グループ 委員の朝倉氏について、特に反対の意見等なく、推薦することとなった。

### 5-7 検討課題の書面投票移行のための審議について（審議事項）

[資料 WS-24-2-5～6]

検討会幹事及び事務局から資料に基づいて説明があり、書面投票移行への採否に関する審議がなされた。

#### (1) 課題番号 WS12-03 「JIS Z 2320(2007)「非破壊試験 - 磁粉探傷試験」の引用

【概要】：JIS Z 2320-1(2007)「非破壊試験 - 磁粉探傷試験 - 第 1 部：一般通則」の標準試験片確認方式を引用する改正提案。

- ・国家標準にトレーサブルとは具体的にどういうことなのかとの質問があり、標準器が原器と同等のものであることとの回答があった。
- ・P5 の工程確認方式は適用することができるのかとの質問があり、現状での適用は難しいとの回答があった。

- ・P6 図 2 の「15/30」は「15/50」ではないかとのコメントがあり、修正するとの回答があった。
- ・P7 表 2 の A 形標準試験片はすべて適用することができるのかとの質問があり、条件に適合しないもの (A1-30/50 及び A1-60/100) は適用できないとの回答があった。
- ・説明が分かりにくいものもあるので、解説等を追加しより分かりやすくしてほしいとのコメントがあった。

**投票採否 賛同 18 名 書面投票に移行決議**

(2) 課題番号 WS12-04「JIS Z 2343-5(2012)「非破壊試験 - 浸透探傷試験 - 第 5 部 : 50°C を超える温度での浸透探傷試験」の引用」

【概要】: JIS Z 2343-5(2012)「非破壊試験 - 浸透探傷試験 - 第 5 部 : 50°C を超える温度での浸透探傷試験」の引用を追加する改正提案。

- ・実際に 50°C を超える温度で行った実証データ等も必要ではないかとのコメントがあった。

**投票採否 賛同 18 名 書面投票に移行決議**

(3) 課題番号 WS12-05「JIS Z 2343-6(2012)「非破壊試験 - 浸透探傷試験 - 第 6 部 : 10°C より低い温度での浸透探傷試験」の引用」

【概要】: JIS Z 2343-6(2012)「非破壊試験 - 浸透探傷試験 - 第 6 部 : 10°C より低い温度での浸透探傷試験」の引用

- ・実際に 10°C より低い温度で行った実証データ等も必要ではないかとのコメントがあった。

**投票採否 賛同 18 名 書面投票に移行決議**

#### 5-8 その他

5-8-1 解釈の改正要請の提出について (報告事項) [資料 WS-24-2-参 1]

事務局から解釈の改正要請の提出について説明があった。

5-8-2 次回スケジュールについて

次回部会の日時は、平成 25 年 6 月 12 日 (水) 13 : 30 ~ とした。

場所等は事務局から追って連絡することとされた。

5-8-3 事務手続きの連絡等

事務局から委員謝金等の源泉所得税の税率変更について説明があった。

- ・復興特別所得税として、平成 25 年 1 月 1 日から 25 年間。
- ・所得税率が 10% から 10.21% に変更。